

むかしの暮らしと道具展

～昭和20年代から昭和40年代～



羽釜



黒電話



氷冷蔵庫

水俣病資料館の語り部は講話の中で、ご自身やご家族に起きた水俣病やその時の暮らしの様子を語られます。水俣病が起こり始めた昭和20年代、被害が拡大していった昭和30年代、補償を求める活動が始まった昭和40年代。当時は戦後の復興期から高度経済成長期へ移り替わっているときで、時代を経るごとに生活の様子や道具が変化していました。

企画展では、人々がどんな生活を送っていたのかを知ることによって水俣病への理解を深めていただくために、当時の生活の様子や使われていた道具を紹介します。



扇風機



そろばん



白黒テレビ

2026年 2月1日(日)～3月31日(火)
水俣病資料館 企画展示室

入場無料 主催：水俣市立水俣病資料館

《水俣病資料館》

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

電話：0966-62-2621



HP はこちら

